



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/honjuku/>



令和5年9月27日
横浜市立本宿小学校

本宿ならではの学校行事がギュッとつまった3ヶ月

副校長 内田 宏

8月を挟んだ7月と9月は、本校ならではの宿泊体験学習が凝縮された2ヶ月でした。個別支援級の「大池自然公園宿泊学習」、4年生の「愛川宿泊体験学習」、5年生の「三浦宿泊体験学習」、6年生の「日光修学旅行」。小学校時代の宿泊学習を振り返ると感じるのですが、大人にとってはたった二日間でも、子どもたちにとっての二日間は、大人の時間の流れと違いとてもゆったりと時間が流れているように思います。だからこそ、宿泊学習は、より濃密な体験ができるのではないのでしょうか。



この二日間で、子どもたちに体験してほしいことが二つ

あります。一つは、子ども同士の関わりの中で、周囲の仲間にしかりと向き合い、かかわる・協力する・折り合いをつけるという経験をすることです。もう一つは、雄大な自然や歴史的物事に直接触れて感じたり、その場所ならではの体験をしたりすることです。実際に見て、触れて、体験することで、言葉で説明する以上の理解が子どもの中に生まれます。私たち教員も、子ども自身が納得のいく答えを見つけられる時間を保障します。子ども同士の言い合いなども、子ども同士で解決できるよう誘います。日常とは異なる長い時間の中だからこそできる指導です。様々な物事に実際に触れたり体験したりすることによって、新たな概念を感得していくことが宿泊学習の意義であると考えています。子どもたち一人ひとりが、宿泊学習を通して感得したものを、これからの学校生活においても大切にしていきたいと思っています。

そして10月は、本校の三大行事の一つである「スポーツフェスティバル」を予定しています。9月末とは思えない暑さが続いているのですが、暑さ対策をしながら一生懸命練習に取り組んでいる子どもたちの姿があります。本年度は、保護者の参観については制限を外しました。しかし、3年間のコロナ期を過ごさざるを得なかった子どもたちの体力状況や異常な暑さを鑑み、午前開催のプログラムとしています。ご理解いただきますようお願いいたします。本校では「縦割り活動（スマイル活動）」を教育の柱の一つとしています。「スポーツフェスティバル」も縦割りグループで交流ができる場と考え、当日はもちろん計画段階から異学年でかかわる場を設けています。活動を通して、低学年は高学年をロールモデルとして憧れをもつ。高学年は責任感と自己肯定感を獲得することを期待しています。また、縦割りグループの高学年の代表児童は、縦割りグループを基本とするスマイル種目を自分たちで決めていきます。種目についての全校への説明・解説等も動画を作成し、自分たちで行います。子どもたちが、自らの手で学校行事「スポーツフェスティバル」を創る喜びを感じてほしいと考えています。当日は、子どもたちそれぞれが、日々の練習や活動の成果を発揮し、輝く姿を見せてくれることと信じます。子どもたちの頑張りに、温かいご声援をよろしく願いいたします。